

# 白馬

はくば

# 議会だより

# 122号



## 白馬から、目指せ!世界の頂点

マウンテンバイク大会で好成績を取めた、平林安里選手、北林力選手と  
白馬マウンテンバイククラブの子どもたち。  
彼らに続く後輩たちにとって大きな目標!



### ■ 村政を問う 一般質問 ..... 9

- ・リサイクルセンター建設の延期理由は
- ・不落になった入札に対しての所見は
- ・根幹的課題解決に本気と具体的施策を
- ・官民連携事業のVFMの検証は可能か
- ・雪を作るための対策について
- ・ゲリラ豪雨などの避難体制づくりは
- ・子育て世代包括支援センター設置は
- ・高裁判決結果と行政反映はどのように
- ・避難所は立地的、強度的に最適所か

### ■ 白馬の豊かさを求めて

予算の執行状況をチェック..... 4  
決算特別委員会の審査報告

### ■ 公有財産の保全・維持管理に、

細心の注意と適切な事務処理を ..... 3  
監査委員2名の監査意見

### ■ 「日本酒が飲める観光列車を!」講師が提言

インバウンド事業の研修会(白馬・糸魚川・小谷議会議員連絡協議会) ..... 19

■ 夢、私たちに。わたしのひとこと ..... 20

表紙写真説明は19ページに

平成29年10月31日発行



# 震災乗り越え、新たな一歩へ

## 監査委員の意見

公有財産の保全・維持管理に  
細心の注意と  
適切な事務処理を



監査委員  
松沢 晶二



監査委員  
松本 喜美人

災害復旧・復興支援は一段落だが、広域ごみ処理施設や新給食センターの建設など多額の費用がかかる状況にあり、更に公共施設などの再編や長寿命化等の計画もあるので財政運営は引き続き厳しいものが想定される。

財政基盤の強化、村税収納額の向上を図るため、地域経済の活性化に果敢に取り組んでいただきたい。とりわけ観光客数及び観光経済の増加対策事業の積極的な推進を期待したい。

村税収納率が着実に増えているのは評価できるが、全国的な収納率と比較するとまだ低い。財源確保と税負担の公平性の観点から一層の努力をされたい。

公有財産は大切に取り扱い、その保全・維持管理(財産の取得、処分、所管換え等の異動の記録、固定資産台帳と附属図面の合致等)の細心の注意と適切な事務処理を要望する。



鍵を受け取りホッと笑顔に。新しい生活に期待もふくらむ。  
(H28.11.25 震災復興住宅入居式)

## 1年間の歳入・歳出の一覧と採決

区分	歳入	歳出	決算の結果	
一般会計	78億1660万円	74億5100万円	全員賛成	
特別会計	国民健康保険	13億9133万円	13億2959万円	賛成多数
	後期高齢者	8007万円	7988万円	全員賛成
	下水道事業	7億4431万円	7億4035万円	全員賛成
	農業集落排水	342万円	340万円	全員賛成
	特別会計 合計	22億1915万円	21億5323万円	
企業会計・水道事業	3億188万円	2億5267万円	全員賛成	
総合計	103億3763万円	98億5691万円		
前年度比	98.56%	100.72%		

注意：上記金額は千円以下を切り捨ててあるため、合計金額に誤差が出ています。  
企業会計の水道事業には資本的収支と収益的収支がありますが、ここでは収益的収支のみ記載しています。

# 決算

## 決算特別委員会 審査報告

決算特別委員会は、5日間(延23時間)担当課から説明を受けたが審査を行いました。紙面の都合上要旨のみの報告となります。詳細については、村のホームページの白馬村議会から会議録をご覧ください。

### ●一般会計歳入歳出決算

#### 今後の起債額を注視

##### 総務課

**問** 手数料収入並びに諸収入が増加している理由は。

**答** 手数料については、ごみ袋販売手数料・粗大ごみ処理手数料・雑排水処理手数料の各手数料を組入れた。諸収入は国休開催のため、スポーツ振興事業助成金が増。組み換えについては当初予算から条例に従って処理。

**問** 将来負担比率が28.3%で、前年度比2.7ポイント増。今後、給食センターや図書館、観光復旧施設の建設などの事業があるが、今後の起債発行についての考えは。

**答** 3カ年の実施計画をたてて予算建てをしている。計画にあることは事実。一時的に起債額は多くなると予想される。将来の事業をシミュレーションする中で大きな負担とならないよう検討していく。今回増えた分は震災復興住宅建設が主なもの。

CHECK!  
総合計画) **さを求めて  
行状況を  
ツク**

**問** 不納欠損221件、6695万円

**答** 6695万円

**問** 税務課

**問** 県地方税滞納整理機構へ委託した案件の成果と状況は。

**答** 滞納整理機構へは7件申請し、2件分、1589万円の入金。平成29年度は前年度5件を含む19件を申請中。

**問** 不納欠損の主なものと件数は。

**答** 固定資産税滞納繰越分が主なもので130件あり、全体では221件。

**問** 今後も保健補導員を続けるのか

**健康福祉課**  
**問** デイサービス事業は社協が担当し、安定した管理運営が求められるが、雇用についての現状は。

**答** デイサービス事業は黒字。確かにパート職に頼っているところはある。今後、安定した雇用につながるよう地域包括センター等と密接に連携して今年度中に対応したい。

**問** 保健補導員の役割は終わっている。名称変更しては。

**答** 時代の変化とともに名称、役割は変わってきている。今後、地区保健補導員と相談しながら検討したい。また、現実的に何もしない地区もあり、活動助成金是不公平感がないよう対応する。

**問** 住民課

**問** マイナンバーカードの交付率は。

**答** 本年3月末の人口を分母とすれば7.2%。

**問** 広域ごみ焼却施設への持込処理量の目標値並びにリサイクル率と減量化については。

**答** 目標値は2,901t、現在のリサイクル率は21.9%。現在より約200t減量する予定。観光客の入込にも影響はするが、各家庭へ減量化は協力してもらえよう努力していく。また、生ゴミ処理施設については今後の課題である。

**問** ステーション方式の設置数とその補助金については。

**答** みそら野、名鉄地区で5ヶ所、補助率は3/4。

**問** 耕作放棄地の可視化を農政課

**問** 耕作放棄地の分かる地図を作成しているか。

**答** 地図は作成していない。GIS地図システムに入力して対応。

**意見** 平場については有休荒廃地化しないよう対策を講じてほしい旨の意見。

**問** 奈良井地区の管理については。

**答** 佐野・沢渡地区に事業完了の説明会を開催。地区住民より様々な意見を頂戴した。湿原保全と維持管理はしっかり対応する。

**問** 国・県の除雪支出金減額傾向

**建設課**  
**問** 除雪費の国県支出金が減っている理由は。

**答** 国県からの助成金は減額

今後他の地区での対応も考えているが、区の集積所も併せて各区長と相談させて頂きたい。騒音計が購入されている理由は。

**答** 飯田地区で騒音問題があり計測するために購入。深夜での騒音について調査を行い、今後調査内容によっては事業者へ改善命令等を出す事もある。

**問** 道路橋梁の廃止された橋はどこか。

**答** 南俣にある3橋梁は村道ではないので廃止。反田(そりだ)橋は震災で壊れていて取り壊すため。

**問** 自転車活用事業の充実を観光課

**問** 庄屋丸八の家賃の年間60万円は月5万で、民間感覚とすれば安すぎるのでは。

**答** 指定管理者はGCで、募集要項に基づいた金額であるが、根拠となる経緯は調査を行う。また、契約期間が5年間で今年度末に契約終了。本年秋季に募集要項を改め募集する予定。

**問** 3市村による自転車活用

**答** 3市村による自転車活用



大北の小中学生による手造り旗が選手を歓迎！  
鮮やかな各県の旗も賑わいを後押しした、30年ぶり3回目の国体。  
アルペン競技ゴール付近(名木山)

# (第5次) 白馬の豊か 予算の執 ちエ

環境整備事業の内容は。

**答** レンタル店ヘアシスト式自転車置いて、利用者試乗頂き、使用先で乗り捨てていく実証試験としての事業。まだ調査が終わっておらず、すべてを報告するに至っていない。委託先から利用内容を聞き取り、検証し次回につなげたい。

**浄化槽整備事業ワクの拡大を**

上下水道課

**問** 合併浄化槽整備事業で、予算の範囲を超え補助を受けられない場合は。

**答** 補助を受けられないケースもある。工事を先送りできる場合は次年度に再度補助申請してもらっている。出来ないところは自己負担ですべてを行うことになる。処理規模の大きなものを優先していることはない。

**子育て支援ルーム利用料の減額を**

教育・子育て支援課

## 決算

**問** 給食費の滞納及び扶助費は。

**答** 必要保護就学援助は給食費の全額を、特別支援教育就学援助は給食費の1/2を保護者の所得に応じて助成するもので、現在89名に援助。近年微増傾向にある。給食費の滞納は年度を超えるものはない。

**問** 子育て支援ルームの利用料を軽減していく考えは。

**答** 一時預かりは1週間8000円。村で料金を決めることが出来るので検討。

**国体開催II施設の有効利用を**

生涯学習スポーツ課

**問** オリンピック施設の起債償還は。

**答** ジャンプ台・スノーハーブの起債は償還済み。ウイング21の起債は残高4億3000万円余りで残り10年の償還期間がある。

**白馬高校の出口対策の強化を**

白馬高校支援

**問** 地方創生加速化交付金を使った事業としているが、この財源は継続していくのか

**答** 交付金は単年度のもの。今は特別交付金措置や特定の事業に対してクラウドファンディングなどを活用したい。

**問** 就職・創業支援協議会とは。

**答** 白馬商工会に依頼して協議会を創設、事業負担金を村が支出。白馬高校生に就職セミナーを行ってある。加速化交付金による対象事業で、進学以外の出口保証としての事業。

**問** 委員全員の賛成により、原案のとおり認定すべきものと決定。

●国民健康保険事業勘定特別会計 歳入歳出決算

歳入歳出決算

**問** 次年度へ繰越金の6000万円内、半分を基金積立すべきでは。

**答** 28年度は1500万円基金を取崩したが、毎年6000万円を積立基準としているため。

**討論** 次年度繰越金を自治法や財政法上の理由から基金積立すべきなので原案に反対。

**賛成** 高額医療が突発的に発生するかもしれないので、安全策を考慮し無理をして基金積立はしなくても良いので、原案に賛成。

**問** 賛成多数により原案のとおり認定すべきものと決定。

●後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算

歳入歳出決算

一部負担の割合で、1割。

3割の区分は。

**答** 課税標準額村民税145万以上が3割負担、世帯非課税・年金80万以下が1割負担。

**問** 委員全員の賛成により原案のとおり認定すべきものと決定。

●下水道事業特別会計 歳入歳出決算

歳入歳出決算

**問** 分担金に1190万円の間に、東部地区に建設された公営住宅の分は入っているか。また条例改正前の区域外流入分担金で決算処理されているか。

**答** 分担金には公営住宅と共同調理場の一部が区域外流入分担金として入っており、決算処理も条例改正前のもので決算処理している。

討論

反対

予算の修正案に賛成して、原案に反対したので28年度決算に反対。

**賛成** 科目変更して決算処理しているので賛成。

●委員賛成多数により認定すべきものと決定。

●農業集落排水事業特別会計 歳入歳出決算

歳入歳出決算

●委員全員の賛成により原案のとおり認定すべきものと決定。

●議案第46号 水道事業会計 未処分利益剰余の処分

●委員全員の賛成により原案のとおり認定すべきものと決定。

●水道事業会計歳入歳出決算

**問** 技術管理研修へは何人派遣しているか、また、主要建設箇所への排水管は耐震対応の物か。

**答** 技術管理研修へは1名を派遣している。布設替え工事ではすべて震災対応のポリエチレン管等を使用。

●委員全員の賛成により原案のとおり認定すべきものと決定。



「高校生と一緒に楽しい白馬村を考える会」と題して理想の白馬像を4つのグループに分かれて考えてみた。公営塾「しろうま学舎」輝★ラボの発表。ノルウェービレッジにて(8月22日)

総務社会委員会

国の補助金855万4千円でふるさとテレワーク推進事業に着手

財産の無償譲渡について

4月から白馬山麓環境施設組合に白馬高校支援事業を事務移管したことから、村で取得した寮の敷地2筆、建物1棟を同組合に譲渡したもの。

敷地裏側建物への接道確保は、隣接地を任意分割して確保に努めたい。

意見

現状を反映した正しい家屋図の作成が必要。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

白馬山麓環境施設組合規約の変更

副村長が2名になったため、規約変更し理事2名を置くことができるとするもの。▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

平成29年度白馬村一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算総額に各5803万7千円を追加、予算総額を68億8866万3千円とするもの。

円とするもの。

総務課

マイナンバーの運用支援、専門家を交えた監査などの業務委託料に559万9千円の増額。

総務省のふるさとテレワーク推進事業に村の計画が採択され855万4千円の増額。村、県、ヤフー、SBDライプが連合体を組み、移住者・地元雇用者増を目指す。全額が国の補助。

計画にある10名の雇用創出の実現は。

ヤフー社員が白馬村で仕事をし、ふるさと納税事務を村から委託するなど村内雇用したい。IT教室も検討。

事業の目標達成時期は。

平成31年度以降を目標としている。

白馬高校支援事業で負担金917万9千円の増額。寮増築に伴う設備修繕や、短期留学奨学金など総額1900万円のうち、不足分1370万円を白馬・小谷村で按分し負担するもの。

5月に起きた中学校体罰事件のフォローで学習支援員1名、教育相談員1名を採用した賃金などに119万1千円増額。

白馬高校の短期留学の内容は。

2年生を対象に20名選抜し、ニュージールランドに20日間程度留学の予定。

オリンピック・パラリンピック20周年記念事業負担金28万4千円の増額。2月に長野市で記念コンサートなどを予定。

図書館事業で講演会開催と、委員会フアンリレーター役への謝礼28万円、旅費64万1千円などを増額。

図書館施設検討委員会の進め方は。

最終答申後に教育委員会の判断結果をもつて村長と協議。建設は平成33年度を予定。

私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書

私立高校生の負担軽減のため保護者への直接補助の継続、就学支援金制度の拡充、並びに私学助成のための意見書提出についての陳情。

意見

将来ある白馬村の子どもであるので継続すべき。

十分に補助できる金額であり継続。意見書の提出も含めて賛成。

▽委員全員の賛成により原案のとおり採択すべきものと決定。

歳入歳出予算総額に各349万円を追加し、予算総額を14億4369万円とするもの。

療養給付費負担金等返納金で、前年度分の実績確定により349万円の増額。

▽委員全員の賛成により原案のとおり可決すべきものと決定。

平成29年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

民生児童委員会との懇談会

民生児童委員さんとの懇談会

福祉現場で重要な役割を担っている皆さんから、日頃の活動を通じての様々なご意見と村政全般の要望を行政につなげることを約束。

閉会中の委員会活動 6月5日(全5回) 現場視察

村内の廃屋・景観阻害建物ごみ集積場の現状を視察。



今にも崩れ落ちそうな特定空き家(廃屋)とみられる建物(岩岳地区)観光地として景観対策が急務ではないだろうか。

担当課との意見交換

視察結果をもって、担当の総務課・住民課と意見交換を実施。

意見

廃屋は予備軍を含めて相当数あり、定期的に所有者と連絡を取ること。

広域化を控えごみ集積場の管理適正化と不足地区対策、未加入者対策などを早急に講ずること。

民生児童委員さんとの懇談会

福祉現場で重要な役割を担っている皆さんから、日頃の活動を通じての様々なご意見と村政全般の要望を行政につなげることを約束。

民生児童委員会との懇談会／廃屋・ごみ集積場を視察し、担当課と意見交換

# 飯森ほ場内の「農道」を「村道路線」に認定

## 産業経済委員会

### ●村道路線の認定について

村道2268号線及び村道2269号線の2路線を農道より村道に認定するもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

### ●村道路線の変更について

村道2128号線の起点を変更、村道1053号線は分譲地の周回道路を村道に認定したことにより終点を変更するもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成29年度白馬村一般会計補正予算(第4号)所管事項

### ○農政課関係

ほ場整備事業等負担金の85万5千円は当初予算の記入漏れがあったので計上。

**問** ほ場整備事業に受益者負担はないのか。負担はない。

### ○建設課関係

道路維持費の320万円は、6月末の豪雨により被害

を受けた9ヶ所の道路法面と水路等の補修。住宅管理費の400万円は森上村営住宅全戸の修繕。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成29年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第1号)

予算の総額に歳入歳出それぞれ488万6千円を追加し予算総額を7億6050万円とするもので、下水道区域外流入分担金4件分で272万8千円の増額。地下タンクの修繕に浄化センター維持管理事業261万8千円、マンホール4ヶ所及びポンプの修繕に管渠維持管理事業226万8千円の増額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成29年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

平成28年度一般会計の決算確定による補正が主なもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成29年度白馬村水道事業会計補正予算(第2号)

収益的収入の補正で営業

外収入に6万6千円の追加し、資本的収入額が資本的支出に対して不足する額を8567万7千円改め、資本的収入の出資金69万4千円追加。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●陳情第6号「新法「民泊」に関する陳情書(継続審査)」

新法「民泊」制定に関する村条例制定と、違法宿泊業者取締強化を求めるもの。

### 要旨

法律を超える条例制定は村としても行えないため、陳情書の「旅館業法以外の宿泊施設を条例により許可をしないように早期に意思表示を行うと共に条例制定を」という点に関しては添えない。違法宿泊施設の取り締まりは強化すべきものなので、陳情書の一部を除く趣旨は理解できるため、趣旨採択とすべき。

▽委員全員の賛成により趣旨採択すべきものと決定。

●陳情第7号「長野県森林づくり県民税の適正活用及び活用事業の拡充を求める意見書の採択について」

森林税活用事業の採択要

件の緩和や森林税の有効活用、適正な活用に勤めることに関する意見書の提出を求める陳情。

▽委員全員の賛成により原案のとおり採決すべきものと決定。

●陳情第9号「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情書について

### 要旨

地球温暖化については、森林吸収源対策の推進が不可欠であるが、山村地域の林業従事者の高齢化、後継者不足及び恒久的な安定的な財源が大幅に不足している。森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるために「全国森林環境税」の早期導入を求める意見書の提出をすること。

### 意見

長野県の取組である、松くい虫防除対策及び鳥獣対策を入れた意見書にしてはどうか。

### 討論

全国の水源確保や地球温暖化防止機能は山村地域が担っているため賛成。

▽委員全員の賛成により原案のとおり採決すべきものと決定。

## 民泊 県旅館組合青年部白馬支部と意見交換



県旅館組合青年部白馬支部の代表者2名、観光課とともに村の民泊のあり方を考えた。(8月21日)

### 閉会中の委員会活動

観光局と観光課との意見交換会

**問** 観光局の目指すものは。

**答** 観光地経営を担い、白馬のブランド力を高めていく。

### 青年部白馬支部と

### の意見交換

民泊についての陳情書が継続審査となっていたため、代表者と意見交換。

### 意見

全ての民泊に反対しているわけではなく、各地域の実情やまちづくり、地域創生の意志を反映できる仕組みにしなければならない。

## 国民健康保険事業勘定特別会計

### 反対討論

#### 【加藤亮輔議員】

28年度国保会計は6173万円の繰越金が出た。村の「国民健康保険給付費準備基金条例」で毎年度、基金として積立てる額は地方財政法で決める額とする、と決められている。  
地方財政法では「繰越金のうち1/2を下らない額を、2年間のうちに1/2以上を基金に編入すること」と義務付けられている。しかし、基金への積み立ては昨年につき、今年も0円。このことは、法令順守に沿った会計処理をしていないため反対。

## 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について

### 反対討論

#### 【加藤亮輔議員】

長野県は平成20年度から森林税が導入されている。今回の全国森林環境税も森林税と同趣旨の目的税。税金は、国民の負担にならないように必要最小限集め、効率よく使用することが求められている。二重負担になるような税金を創設することに反対。

## ● 9月定例会 議決結果 ●

件名(要旨)	議決結果
財産の無償譲渡について(白馬高校寮の土地建物を白馬山麓環境施設組合へ)	可決 賛成:全員
村道路線の認定について(村道2268号線、村道2269号線を認定)旧農道20-03-1号線及び20-03-2号線飯森地区農道を村道路線へ	
村道路線の変更について(村道2128号線(八方口地区村道の起点変更)、村道1053号線(深空地区村道の終点変更)	
白馬山麓環境施設組合規約の変更について(白馬村副村長が2名により当組合理事を2名置くことができる)	
平成28年度白馬村水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(剰余金を建設改良積立金と利益積立金に積み立てる)	
平成29年度白馬村一般会計補正予算(第4号)(人件費組換えと白馬高校支援事業及び移住交流集落支援事業等の補正)	
平成29年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)(療養給付費負担金の国庫金等返納分を補正)	
平成29年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第1号)(浄化センター及び管渠・マンホールポンプ等修繕経費を補正)	
平成29年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)(繰越金の確定による補正)	
平成29年度白馬村水道事業会計補正予算(第2号)(一般会計補助金及び出資金の補正)	
平成28年度白馬村一般会計歳入歳出決算認定について	承認 賛成:全員
平成28年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	承認 反対:加藤・伊藤
平成28年度白馬村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	承認 賛成:全員
平成28年度白馬村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
平成28年度白馬村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	
平成28年度白馬村水道事業会計決算認定について	
追加議案(要旨)	
工事変更請負契約の締結について(平成28年度 白馬村立白馬中学校大規模改修工事)	可決 賛成:全員
白馬村公営塾利用料徴収条例を廃止する条例について(白馬山麓環境施設組合に公営塾利用料徴収条例が制定され廃止する)	
白馬村福祉医療給付条例の一部を改正する条例について(高校生までを対象に現物給付の導入を行う改正)	
教育委員会委員の任命について(伊藤公一氏に任命)	
発議・発意	
発議:津滝議員 道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律による補助率等の嵩上げ措置の継続に関する意見書	採択 賛成:全員
発委:総務社会委員長 私立高校に対する公費助成に関する意見書	
発委:産業経済委員長 長野県森林づくり県民税の適正活用及び活用事業の拡充を求める意見書	
発委:産業経済委員長 全国森林環境税の創設に関する意見書	採択 反対:加藤

## ● 陳情等文書 ●

提出者	住所	要旨	付託委員会	審査結果
八方尾根観光協会 協会長 丸山和博 白馬五竜観光協会 協会長 矢口健治 白馬岩岳観光協会 協会長 松島芳明 白馬さのさか観光協会 協会長 長沢政章	白馬村	新法「民泊」に関する陳情	産業経済委員会	趣旨採択 賛成:全員
長野県庁信頼回復の会 代表 小泉一真	長野市	長野県森林づくり県民税の適正活用及び活用事業の拡充を求める意見書の採択について	産業経済委員会	採択 賛成:全員
中信地区私学助成推進協議会 会長 手塚貴雄	松本市	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	総務社会委員会	採択 賛成:全員
全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳	新潟県 村上市	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	産業経済委員会	採択 反対:加藤



# 一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

## 安全で活力ある 村づくりをめざして 村政を問う

臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

### 質問内容

- ・新リサイクルセンター建設の延期理由は
- ・不落になった入札に対しての所見は
- ・根幹的課題解決に本気と具体的施策を
- ・官民連携事業のVFMの検証は可能か
- ・雪を作るための対策について
- ・ゲリラ的豪雨などによる避難体制づくりは
- ・子育て世代包括支援センター設置は
- ・高裁判決結果と行政反映はどのように
- ・避難所は立地的、強度的に最適所か

### フォトニュース



### 備えあれば憂いなし

毎年9月に行われる防災訓練。今年は9月10日にウイング21で行われた。  
万が一の災害に備え、日赤奉仕団メンバーによる炊き出し訓練も…。  
このチームワークがいざというときに心強い。

**問** 新リサイクルセンター建設の延期理由は

**答** 全地権者の承諾が得られることが条件



篠崎久美子議員

**【新リサイクルセンター建設】**  
**問** 八方地区に予定の新リサイクルセンター建設が延期になった理由は。

**答** 村は現在の賃貸借契約のなかで土地提供することに問題はないと考えていたが、事業主体の広域連合は登記名義人全員の承諾を得ることが条件との見解で、建設にあたる様々な手続き上も必要と判断し延期にいたった。用地の課題を広域連合と共有していなかったことも一因で、お詫び申し上げます。

**問** 延期期間中の対応事業主体は。  
**答** 代替として稼働停止後の現清掃センター内で資源

**問** 来年度から財政主体が県に移行するが変更後の保険税は。

**答** 当初8月とされた県からの試算額の提示が遅れている。数値が出された段階で最終的な税率変更を検討。

**問** 移行後 国保基金については。

**答** 基金現在高は1億3千万円、県移行で村の財政的リスクは減るため、取り崩して保健税率が高くなる場合に被保険者負担軽減などにあてることも考えられる。

**問** 医療費抑制効果も目指している村独自の健康保険事業は。

**答** 若年検診や特定健診無料化、保健指導の強化などの成果も表れてきているので、変更後も継続したい。

**問** 県移行後の保険税に変更は

**答** 県からの試算提示後に検討

【国民健康保険事業】

**【音楽あふれるリゾート白馬村を目指して】**

**問** 村内で今夏も多くのコンサートなどが開催された。音楽を生かした地域づくりは。

**答** 住民が文化芸術を楽しむ村づくりをしていきたい。内容の充実をはかるべく検討する。

**問** 補助制度や企画創出など、音楽振興への体制づくり

**答** 村内で展開されている音楽活動を検証し、観光振興

につながる方策を検討したい。

**問** 民間も含めたコンサートなどを一括して情報発信しては。

**答** 観光局などを通じ積極的に情報発信・サポートに努めたい。

**問** ウイング21音楽ホールは使用料の値下げの検討は。

**答** 平均的価格である。利用促進は村民ニーズに合わせた公演内容などの検討で図りたい。

**問** 音楽を生かした地域づくりは

**答** 文化芸術を楽しむ村づくりをしていきたい



村内外から大勢の聴衆が訪れた、今夏開催のNAGANO国際音楽祭

**問** 不落になった入札に対しての所見は

**答** 認識が甘かったと反省している



太田伸子議員

【学校給食施設建設について】

**問** 建設業者選定の入札不落の経緯は。

**答** 教育長 特定建設工事共  
同企業体(特定JV)5者  
による指名競争入札を行ったが  
5者全てが予定価格に達せず、再  
度入札を実施。4者が辞退、1者  
のみの応札で予定価格に達せず  
不落に。最低価格提示者と2回を  
限度に随意契約を検討する「不落  
随契」を行うが、2回とも予定価  
格に達せず不調になる。2回目の  
見積金額は9億720万円、予  
定価格に対して1億700万円  
余りの開き。

**問** 基本設計業者と実施設計  
業者の事業者名と契約金  
額は。

**答** 教育長 基本設計業者・  
実施設計業者とも指名  
競争入札により松本市の(株)  
県設計。契約金額は基本設計予  
定価格22,743,200に對  
して324,000円、実施設計  
予定価格19,008,000円  
に対して12,690,000円。

**問** 子どもたちの食の安全を  
早急に確保するための事  
業であるが、今後どのように進め  
るのか。

**答** 交付決定されている国の  
補助金の執行上からも、時  
間的に猶予もなく前に進める中  
で、設計内容を見直している。年  
明けに再度入札を実施できるよ  
う努めている。

**問** 藤本副村長の2年間に期待することは

**答** 村の地方創生に、活躍を大いに期待

【特別職及び職員配置につ  
いて】

**問** 村の要望で、総務省より派  
遣された藤本副村長の期  
限が2年と限られているが、村長  
の期待するところは。

**答** 職務担当は地方創生。「総  
合戦略実現に向けた、各種  
施策の構築」「景観と環境を基礎  
とした観光地づくり」「地域コミュ  
ニティ形成と推進」「地域内循環  
システム・経済システムの構築」  
など。職員の模範ともなり、総務  
省へ帰った折には、村及び職員に  
とって、目に見えない大きな財産  
になると期待している。

**問** 藤本副村長の赴任前と赴  
任後の白馬の印象は。

**答** 藤本副村長 赴任前は、ス  
キーをはじめとする観光  
が盛んな村というイメージ。赴任  
後は、感じていた以上にポテン  
シャルの高い地域であると感じ  
ている。しかし、先進的であるが  
故の課題も多い。課題に対応し、  
村が将来にわたって持続可能な  
仕組みを作っていきたい。

**問** 村長の職員配置の基本的  
な考えは。

**答** 「専門性の高い人材育成」  
「若手職員の早期育成」

部職員の養成」など。もちろん「人  
事評価制度」や「再任用制度」は  
ベースにある。  
個別の考え方として、重点施策や  
専門性が高い業務か、実務の継承

が容易であるか、全課体制がとれ  
るかも考慮しなければならない。  
一般的な事、個別の事を総合して  
行っている。



学校給食施設建設予定地〔中学校裏〕

**問** 根幹的課題解決に本気と具体的施策を

**答** 支援員配置するも永遠の課題でもある



丸山勇太郎議員

**【行政区問題について】**

**問** 行政区の線引きはアパウ  
トで、グレイゾーンがあ  
る。いつ決め現在どのよう  
に管理しているか。また行政  
区画審議会の開催実績は。

**答**

昭和60年に作成し図面で  
保管。過去新たな区が発  
足したときだけ見直した。混乱  
地域はある。転入時には住宅地  
図で案内。審議会を開催してい  
ない。

**問** 最新の行政区加入率は。  
正確な加入率を今もって  
把握していないのは大問題。戸  
別調査で正確な数字をつかむ必  
要があるのでは。

**答**

調査方法が確立されてい  
ないが、機械的に算出し

とは承知している。税外負担金  
の全額村負担は考えていない。

**問** 広報媒体である防災行政  
無線宅内機、ケーブルT  
V、区経由の配布、新聞の各普及  
率は。本村に100%の手段が  
ないのは大問題。小谷は無線機・  
ケーブルTVともほぼ100%。  
ケーブルTVとも51%、区経  
由76%、新聞62%にとどまってい  
る。受信アプリは検討中。

**答**

防炎無線宅内機55%、  
ケーブルTV51%、区経  
由76%、新聞62%にとどまってい  
る。受信アプリは検討中。

**問** 地区役員のなり手不足は  
深刻。区長の負担は大変  
大きい。農家組合長などは役割  
を終えている。負担軽減を図る  
考えはないか。

**答**

区長の職責は大きくは変  
えられないが、役員数の  
見直しはしていきたい。

**問** 地区担当職員の役割は。  
未加入世帯への配布など  
でもっと活躍を。

**答**

言い訳になるが、業務多  
忙で区長へ配布物をま  
めて届けるだけにとどまってい  
る。

**問** 新たに任命した集落支援  
員の役割と働きぶりは。

**答** 6月より2名配置。これ  
までの経験を活かし精力  
的に働いてもらっている。

**問** 外国人が大半となってコ  
ミュニティーの維持が難  
しくなっている地区があるが、見  
解は。

**答** 外国人との意見交換会な  
どでは、出席した外国人  
住民には「区」の制度を説明して  
いる。

**問** 地区役員懇談会のやり方

が今もって定まらないし、もっと  
有意義なやり方があるのでは。

**答** 日程は理事者の都合で決  
めるが、内容と進め方は  
考えたい。

**※税外負担金**  
社会福祉協議会の会費、赤い羽  
根、緑の羽根、交通安全協会費、ス  
キー選手育成会賛助金など、税の  
ほかに住民からご負担いただい  
ているもの。これらとは別に消  
防団の協力金などもある。



村道の側溝泥上げ作業に励む和田野区の住民。  
行政区を支える担い手は、たいへん少なくなっている。

**問** 官民連携事業のVFM<sup>注1</sup>の検証は可能か  
**答** 調査委託の中に含まれている



伊藤まゆみ議員

**【新・道の駅について】**

**問** 6月定例会で新・道の駅が補正予算で可決され、調査を委託されているが、この調査で明らかにする主な点は。

**答** この調査で明らかにしたい内容は大きく3点で、①現況及び先行事例に関する調査、②施設整備構想の作成、③官民連携手法に関する調査。

**問** 「道の駅を核とした観光のまちづくり交流拠点」は官民連携の事業方式に焦点を当てているが、「公設公営」あるいは「公設十長期包括委託方式」は、資金面から除外する方向か。

**答** 様々な方式の手法があるので、事業費を比較した上で総合的に判断する。

**問** VFMはPFIの重要なキーワードだが、はじき出されたVFMを検証できるのか。

**答** 今回の調査で事業費などを含め最適な事業スキームを確定する。VFMの算定も委託の中に含まれている。

**問** 人口減少対策で2年間に出せる成果は

**答** 宿泊税を含めた観光地経営体制整備など

**【人口減少対策について】**

**問** 当村への派遣は人口減少対策ということだが、当村は他地域に比べると若者の流入はある方と思われる。当村の

人口減少の主な原因は。

**答** 藤本副村長 平成24年度以降、外国人転入者の増加もあり、社会増は続いているが、平成17年以降自然減少が続いており、出生数の少なさが自然減少の大きな要因。

**問** 「2年間の間に成果を残したい」とのことだが、2年間に出来る成果とは。

**答** 藤本副村長 人口減少にある程度歯止めをかけるとともに、減少することを前提に人々の生活が持続可能になるよう、地域の基礎体力を高める政策が必要。具体的には、宿泊税を含めた観光地経営のための体制整備、観光や福祉の用途を含めた公共交通のあり方、子育て環境の充実など。

**問** 使途は納税者の意を介しているか

**答** この村の美しさを実感してもらえる

**【ふるさと納税について】**

**問** 平成28年度の寄附状況では「環境保全及び景観の維持・再生に関する事業」が「指定なし」に次いで多いが、使途は塵芥処理費（ごみ処理）にH28年は4700万円、H29年の予算では9600万円ほど。この使い方は納税者の意を介しているとお考えか。

**答** 災害に対する寄附を多く頂いたので被災家屋撤去に係る負担金等に充てる予定。適正なごみ処理を円滑に進めることで、この村の美しさを実感してもらえる。

項目	公設公営	公設十長期包括運営業務委託方式	公設民営方式 (DBO方式) 設計-建設-運営	民設民営方式 (PFI方式)		
				BTO方式 建設-運営-運営	BOT方式 建設-運営-運営	B00方式 建設-所有-運営
民間関与度	小 ←————→ 大					
計画策定	公共	公共	公共	公共	公共	公共
資金調達	公共	公共	公共	民間	民間	民間
設計・建設	公共	公共	公共 民間	民間	民間	民間
運営	公共	民間	民間	民間	民間	民間
施設の所有 (建設時)	公共	公共	公共	民間	民間	民間
施設の所有 (運転期間中)	公共	公共	公共	公共	民間	民間
施設の所有 (事業終了後)	公共	公共	公共	公共	公共	民間
運営モニタリング	—	公共	公共	公共 民間	公共 民間	公共 民間
固定資産・減価償却	×	×	×	×	○	○

PFI方式は資金調達を民間が行う。PFIで失敗しないためにはモニタリングも含め、行政側にかなりの知識が必要とされる。

VFM<sup>注1</sup>  
 バリユー・フォー・マネーの略。  
 PFI<sup>注2</sup>でしかたが直営よりいくら得になるかの費用対効果分析  
 PFI<sup>注2</sup>  
 プライベート・ファイナンス・インシアチブの略で、民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。あくまで地方公共団体が発注者で公共事業として行うもの。

**問** 雪を作るための対策について

**答** 降雪機稼働経費の補助はしない



松本喜美人議員

【平成28年度雪不足意見交換会における意見集約による提言結果】

**問** 寡雪時の雪を作るための、二つの提言結果は。

**答** 最初に、降雪機によるゲレンデメーカーキングは、唯一有効な手段であるが、各スキー場の装備の違い、事業内容が限定的であり自治体が補助する内容に懐疑的な意見もあり、別の支援を検討すべきと庁内で意見集約され、今年度降雪機稼働経費の補助はしない。次に、降雪機等の固定資産税の減免は、「白馬村税法例第71条第1項」で4項目に規定されており、租税負担の公平性及び公益性の観点から、減免の適用は難しいと判断した。

**問** 通年観光の早期構築は。

**答** 観光地経営計画でも、基本方針で「スキー目的＋グリーンシーズン周遊型からオールシーズン・滞在型への転換」を掲げており、「観光資産価値の最大化」「滞在価値の多様化」の戦略のもとに、具体的施策に取り組んでいる。

**問** 異常気象を想定し、事前の対応計画は。

**答** 村では、神城断層地震や2年続きの寡雪経験から、本年度から「観光地BCP計画」の共同研究に取り組んでおり、BCPとはビジネス・コンテンツ・プランニングの略で、企業等が被災等で稼働不能の時に、事業の継続や再生をどう進めるかあらかじめ定める計画をいうもので、この考えを観光地に当てはめ、村がどのような行動すべきかをあらかじめ計画しておくものであり、観光分野でこの計画について示しているところは全国でもなく、計画は平成30年度の策定を目指している。

**問** インバウンドの広範囲な誘客は。

**答** 安定した集客のためには、一国・一地域に偏った誘客展開は危険と考え、アジア・東南アジアへ県と共にプロモートしている。

**問** シーズン先取りの誘客展開は。

**答** 旅行販売のオンライン比率は、年々増加しており昨年は40%に達し、旅行手配は直近傾向であり、宣伝活動の手段により最大効果の時点で、事業展開すべきと考える。

**問** 入込調査のアンケートは、被害金額設の設問や記名式であったが、設問設定や無記名にするなど工夫が必要。また影響の大きいところは直接聞き取り調査が必要であり、さらに民間との協力体制を強化しより正確な実態把握に努めたい。

**問** 入込調査のアンケートは、被害金額設の設問や記名式であったが、設問設定や無記名にするなど工夫が必要。また影響の大きいところは直接聞き取り調査が必要であり、さらに民間との協力体制を強化しより正確な実態把握に努めたい。

**問** 入込調査のアンケートは、被害金額設の設問や記名式であったが、設問設定や無記名にするなど工夫が必要。また影響の大きいところは直接聞き取り調査が必要であり、さらに民間との協力体制を強化しより正確な実態把握に努めたい。

**問** 入込調査のアンケートは、被害金額設の設問や記名式であったが、設問設定や無記名にするなど工夫が必要。また影響の大きいところは直接聞き取り調査が必要であり、さらに民間との協力体制を強化しより正確な実態把握に努めたい。



信州DC開催中、議会を含め各団体が協力し、駅構内でおもてなしを行いました

**問** ゲリラ的豪雨などによる避難体制づくりは

**答** 住民主導型避難体制づくりを目指す



田中榮一議員

【防災について】

**問** 「国が求めている住民主体の地区防災計画や、住民主導型の警戒避難体制づくり」について各地区への指導を考えているのか。

**答** 地域から土砂災害による犠牲者を出さないためにはとにかく安全な場所に早めに避難することが重要であり、住民主導型の警戒避難体制づくりを姫川砂防事務所との協力を得ながら実施していく。

**問** 7月4日土砂災害警戒情報により避難準備情報が発令されているが、住民に対する情報はどのように周知されたのか。

**答** 行政無線での放送・対象区域の区長への電話連絡・村ホームページへの掲載・ケーブルテレビでの放送・マスコミへの情報提供によりニュースとして流していただいた。福祉施設には担当課からメールなどで情報を周知し、支援や配慮が必要な方には直接連絡を取った。

**問** 法律に則ったの行政代執行の考えは

**答** 「自分の財産は自分で処理する」が大前提

【空き家対策について】

**問** 現在廃屋を含めて村内に何件空き家があるのか。

**答** 各地区役員や関係者等に協力いただき集落支援員が聞き込み調査を行った。現在39件が台帳に記載されている。

**問** 観光地として景観形成の面からも対策が急務、空き家対策専属の職員配置の考えがあるのか。

**答** 特定空き家(廃屋)への進行防止については、総務課・税務課・上下水道課等それぞれで対応しており当面は兼務体制で行く。

【山小屋経営について】

**問** 特定空き家と思われる家に対する行政代執行の考えは。

**答** 「自分の財産は自分で処理する」が大前提。現在物件の所有者は把握できており滞納物件は法に基づき滞納処分を実施、滞納のない物件は適正管理を促している。現在のところその考えはない。

**問** 山小屋経営対策検討委員会設置は

**答** 必要な時期に来ている

【観光産業について】

**問** 山頂宿舎の老朽化、雪害による天狗山荘の倒壊等による山小屋経営が問われている。対策検討委員会等の設置の考えは。

**答** ピーク時8万人を超える登山者数であったが、現在はその半分以下にまで減っている。北アルプス北部一帯での受け入れ態勢について、民間経営の山小屋の皆さんや山岳関係者との話し合いの場としての対策

検討委員会の設置は、必要な時期に来ている。

**問** 佐野坂スキー場が存続の危機に直面していると聞いているか。

**答** 仮に営業ができないとなると村の経済に及ぼす影響は大きいものがある。今シーズンも営業が継続できるように切に願う。



犬川にバックホーが入り、中洲の整備が行われた。これにより防災と、区民が川に入っの草刈作業から解放

**問** 子育て世代包括支援センター設置は

**答** 来年度早い時期に設置予定



田中麻乃議員

【妊娠・出産・子育て支援事業の充実化について】

**問** 核家族が増える中、地域全体で子育てを支援する姿勢が大事であり、今までの妊娠から子育ての切れ目ない支援事業をさらに充実させることが望ましいと考える。今後考えている支援事業の内容や予算の組み立ては。

**答** 今後行う事業としては、子育て世代包括支援センターの開設が次のステップであると考えている。予算の組み立てについては、センターは複数の機能を集結した姿になると思うので、健康福祉課、子育て支援課、保育園事業とそれぞれに予算計上をしている。

**問** 大町市における産後ケア事業、育児支援ヘルパー派遣事業、母乳相談等助成事業が好評であり白馬で実施されていないので取り入れてはどうか。

**答** 産前産後サポート事業を含め現存のサービスがまだ不十分ではある。大町市の母子保健推進員に助言や指導を受けながら今後サービスの充実を図っていきたい。

**問** センターの設置に向けての具体的な動きは。

**答** 子育て支援課としては健康福祉課と連携しながらと実務者レベルの協議を進め、来年度の早い時期の開設を目指している。センターには利用者支援専門員配置が望ましいとされているので職員2名をこの秋に専門研修に参加させ資格取得させる予定。

**問** センター設置にあたり他の自治体との連携はどのように進んでいるのか。

**答** 白馬村子育て支援連携

マップを内部で作成し、大北及び県内の事業者と連携している。現在は担当が必要な時に連携しているが、センターができればコーディネーター役を介して一元化できると考えている。

**問** 村男Ⅲ世の村民活用推進について  
**答** 地元に愛されるよう柔軟に対応

【白馬村キャラクターヴィクトワール・シヴアルブラン・村男Ⅲ世取り扱いについて】

**問** 村民が村男をイベントで使用する際に明確でない制約があり使いづらいつの声がある。使いやすいように柔軟に対応をお願いしたいが担当課としていかがか。

**答** 白馬村キャラクターデザイン使用に関する要綱に則り観光課が管理している。村男は地元で愛される存在であることが必須である柔軟に対応していく。

**問** 村男バーガーの今後の展開は。

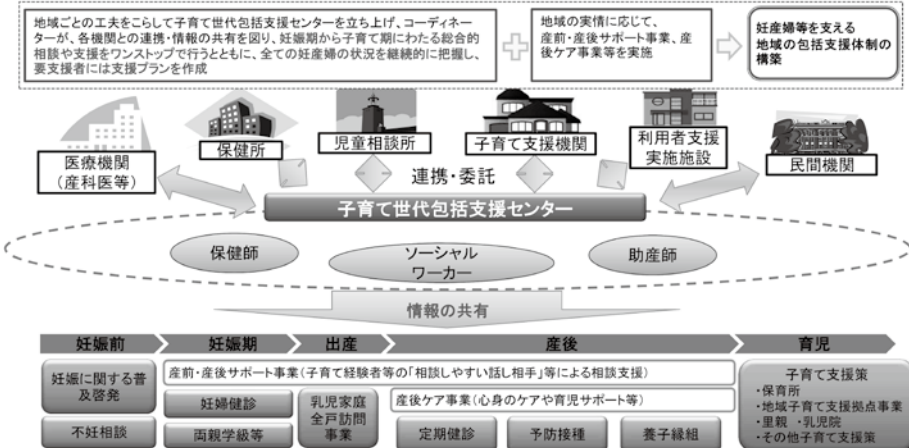
**答** 村男バーガーがだんだん売れなくなってきた理由として、味や販売価格、販売場所など様々な課題がある。現在関係者を交えて意見交換している。

**問** 販売は振興公社、バーガー在庫管理は民間企業という売れる側が改良もできない組織構造について今後どう考えているか。

**答** 検討の中で今までと違つた形での販売を考えていかなければならないと考えている。

子育て世代包括支援センターの法定化・全国展開

- 現状様々な機関が個々に行っている妊娠期から子育て期にわたるまでの支援について、ワンストップ拠点(子育て世代包括支援センター)を立ち上げ、切れ目のない支援を実施。
  - ワンストップ拠点には、保健師、ソーシャルワーカー等を配置してきめ細やかな支援を行うことにより、地域における子育て世帯の「安心感」を醸成する。
  - 子育て世代包括支援センターを法定化し、おおむね平成32年度末までに全国展開を目指す。
- 平成27年度実施市町村数:138市町村 ➤ 平成28年度実施市町村数(予定):251市町村(423か所)



子育て世代包括支援センターイメージ図：厚生労働省 HP より



**問** 高裁判決結果と行政反映はどのように

**答** 裁判は継続中答弁は控えたい



横田孝穂議員

**【受益者負担金について】**

**問** 住民訴訟の経過と行政反映は。

**答** 平成28年2月長野地裁の判決は相手方の訴えがすべて退かれたその後地裁の判決のすべてを不服として同年3月に高裁に控訴し高裁でも、1審の地裁と同様に訴えをすべて退けるものとしたその後判決を不服として本年7月に最高裁へ上告され受益者負担金問題は行政に対する信用を大きく失墜させ、二度と問題を起こさないよう努め裁判が継続中でありそれ以上の答弁は控えたい。

**問** 本年4月条例改正された状況は。

**問** 個人法人が支払った受益者負担金の最高額及び消滅時効賦課替え、徴収猶予等で支払うとした場合の最高額はいか程か。

**答** 納付された受益者負担金の最高額は、法人で1,763万9,300円、個人で502万8,000円。消滅時効、賦課替え、徴収猶予等の支払うとした場合の最高額は、法人で1,452万600円、個人で1,314万5,400円。

**問** 住民説明会では十分に理解されたと判断されたか。

**答** 農業体験実習館(2月23日)は、村民7名・ウイング21会場(26日)は、村民9名の計16名参加で2会場で実施、その後行政ホームページへ条例改正の経過と説明会資料及び会議要旨の掲載、広報はくば等で村民への周知を図った。

**問** 条例改正により決算上に表れない時効額は、第6条第1項の廃止は、728万1千円・第11条の廃止は、7,802万8,050円。

**答** 受益者負担金と加入分担金を賦課する二通りの徴収方法があり加入分担金制度廃止し排水区域から除外した。改正したメリットは現れたのか。受益者負担金のみとなり解り易くなった。

**問** 新ゴミ処理施設の稼働は予定通りか

**答** 来年3月には一部試験運転を開始



問題解決までは既存施設を利用する

**【新ゴミ焼却施設とリサイクルセンターについて】**

**問** 新ゴミ処理施設の稼働開始については。

**答** 全量受入れは8月を予定、それに向けたゴミ収集体制の整備にも努める。

**問** 八方に建設予定のリサイクルセンター平成30年稼働延期との報道の経緯は。

**答** 現在の清掃センター同一敷地を利用する計画で進めてきたが、登記上は89名の共有地で建設には支障はないと判断していた。しかし建設手続き上、登記名義人全員の承諾が必要となり、工事の着工を延期するものである。

**問** 避難所は立地的、強度的に最適所か

**答** 現時点では、最適所と考えている



加藤亮輔議員

【災害が予想される時点での広報、避難所対策について】

**問** ここ2、3年記録的短時間大雨による被害が各地で多発。防災行政無線の未設置世帯を含め、避難、災害情報を全村民に迅速にできるか心配。未設置世帯に受信機を貸与してはどうか。村民への行政伝達が質量とも大幅に改善もされる。見解は。

**答** 現在アナログ波を使用、将来的にはデジタル波を考えている。また受信機の保有台数、配布地域を考えれば、現状としては、今の媒体で周知したい。

**問** 耐震診断で新田、飯森、切久保、落倉公民館、森上

塩島基幹センターは「倒壊する可能性が高い建築物」との結果が出た、なぜ、避難所として使用するのか。

**答** 現有施設を考えると公民館が考えられる。公的施設であれば、村としての考えを出せるが、これらの公民館も改修予定があり、その辺につきましたは地区の意向を伺いながら決めた。

**問** 地域で建てた公民館だから地域で工面せよでは納得できない。また、避難所が遠い問題。嶺方区のウイング21、通立の間、青鬼区の北部グラウンド等、2〜3K離れている。夜で大雨の時もある、なぜ屋外を指定したか。

**答** 距離、屋外の問題は、一旦公民館などに集まって移動するから問題ない、長期的な場合は避難所へ移動する。これは屋内です。地区懇談会の中で協議して決めたので理解を。

**問** 避難所については多くの

問題点がある。検討委員会を立ち上げては。

**答** 集落懇談会の中で、もう一度役員と検討したい。

**問** ごみ集積場の設置数は

**答** 不足している

【ごみ処理問題について】

**問** 行政区加入率、約57%。地区のごみ集積場、原則使用禁止状態の未加入1700世帯の収集方法は。

**答** パッカー車待機による積み替え方式が利用でき、ある程度は期待している。

**問** 大町市の集積カ所は2000カ所。白馬村は、ステーション方式10カ所を含め合計65カ所。世帯割合で、大町市の10分の1。大丈夫か。

**答** 不足と考えている。区長と相談し、地域の意向を尊重し対応したい。

**問** 障がい者法定雇用率を満たしていないが

**答** 来年度は障がい者枠を設けて募集

【障がい者の就労について】  
**問** 障がい者対策の法整備が進む中、村の対応が遅れ

**答** 仕事の内容、職場環境等を紹介し、応募しやすく整えたい。来年度、障がい者枠で臨時、嘱託職員の募集を考えている。今年度、事務事業量の調査、業務内容を明確にし、積極的に募集を行い、正職員の雇用になればと考えている。



耐震対策も施され安心・安全な堀之内公民館。急がれる、手つかずの未耐震公民館（指定避難所）の整備を。



ラージヒルで担当課長より説明を受ける(9月8日)

## ジャンプ競技場に 国際基準施設に

決算審査での一環で、銀嶺団体に備えて改修が行われたジャンプ台を視察。今回の改修で滑走面が凍結される設備が施され、国際基準に合った施設となった。

## 人口減少対策は急務

大北市町村議会議員が研修会  
(10月4日)



人口減少問題は大北1市1町3村の共通の課題。魅力ある地域にしていくために広域連携は欠かせない。

当村が担当で大北市町村議会議員研修会を開催。総務省から派遣されている藤本白馬副村長による「持続可能なまちづくりとしての地方創生の推進」と題した講演で、当地域において人口減少対策は、避けられず急務であることを再認識。終了後は、グリーンスポーツでマレットゴルフを行い、団体戦は今年も松川村が優勝。当日は気温が低く寒さに震えながらのゲームであったが、有意義な交流会になった。

## オールシーズン観光の 未来に期待!

白馬・小谷議会議員連絡協議会を  
八方尾根で開催(9月26日)



ここではガイドが丁寧に蛇紋岩や植生に関して説明してくれる。(八方尾根高原)

グリーンシーズンに力を入れている、八方尾根開発(株)様の北尾根高原を視察。全ての来訪者に現地案内を細かくしている会社の営業方針に感心した。その後の座学では、八方尾根開発(株)の倉田保緒社長と丸山直樹専務に、「八方尾根開発の現状と今後の取り組みについて」と題して講演をいただいた。特に商品開発事業や北尾根高原の創設、さらには生きがいをもって100歳まで活躍するための「100活」の提唱など、様々な事業の展開とチャレンジ精神に、白馬のオールシーズン観光の未来が期待されている。

## インバウンドでの活性化策、広域連携を学ぶ

白馬村・糸魚川市・小谷村・議会議員  
連絡協議会を開催(7月31日)



糸魚川市からの要望でインバウンド事業の研修を実施。糸魚川-白馬間は「日本酒が飲める観光列車を」とケビン講師が提案。

初めに「白馬森のわさび農園」田中末春社長に農園の説明をしていただき、現地見学。その後白馬47スキー場に移動。ゴンドラ頂上駅舎内の会場で(有)JHNトラベル モラード・ケビン代表取締役社長から「白馬のインバウンド事業について」と題して、白馬47スキー場 太田達彦代表取締役社長より「経営者から見た白馬の観光について」、企画営業部の前田氏からは「白馬47スキー場の運営とインバウンドの受入について」と題して講演いただいた。



## 表紙の写真説明

10月1日にスノーハープ競技場で行われた白馬マウンテンバイク大会。地元出身、エリート男子の部で優勝した平林安里選手、ジュニア男子の部で優勝した北林力選手(写真中央)と、この日参加した白馬マウンテンバイククラブの子供たち。彼らにとって大きな目標となりそうな両選手だ。ガンバレ! 平林選手、北林選手。

ご意見を  
お寄せください。

85-0725(直通)  
72-7001(ファックス)

むらの未来が見える  
(9月定例会の傍聴者延べ23人)

議会傍聴においでください  
次の定例会は 12月 本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます

## 夢、私たちに。

# わたしのひとこと



### 白馬大雪渓ルート偵察

飯森 松本 正信

日本三大雪渓、万年雪を保ち夏は天然の冷蔵庫。白馬大雪渓は降雪量や雨量、風、日射の強弱によって千差万別に融雪が進む速さも毎年変わりつつある。

昨年大雪渓は早くから至る所にクレバスの大きな割れ目が出来、今年大雪渓はどうなるものかと心配したが、開山祭では例年よりも積雪量が大変多く、6月～8月は落石事故も無く夏山が終了。

9/27秋道の登山道整備とルート偵察では、3号雪渓下部のクレバスが大きな口をあけていた以外は、上部砂山の取り付きまでの雪渓はクレバスの亀裂は無く、秋山スキーが出来るほどのきれいな雪渓を保ち一安心。また砂山中間地点には、スイスのマッターホルンに似た大きな岩石があり、大雪渓の一つのシンボルになるかと思ひ下山。

白馬尻付近は紅葉の真っ只中。華やかだった夏の山から静寂な秋の山へと足を運んでみませんか。



### 「なから」からの脱皮を

めいてつ 奈良 安晃

ちょっと辛口の意見をひとつ。私が白馬村に移住してきて18年目になりますが、いつも感じるのは、この村は「活気がないな」ということです。それはなぜでしょうか。

一年半ほど前に、村の若い職員が「この村はなからだからね」と言うのを聞きました。「なから?」。早速調べてみると「だいたい」ということのように、これは「ほどほどに」にも通じるように思います。

「これだ!」。「なから」は人づきあいには必要な心使いだと思いますが、行政や議会では活力につながりません。行政は「最大のサービス産業」です。「なから」ではなく、去年より今年、今年より来年と、村民や観光客へのサービス向上に積極的に取り組んで欲しいものです。また、議会においても「なから」ではなく、積極的な審議と提案、そして行政の確実なチェックをお願いします。



### 白馬駅前活性化

落倉 田中 瑞人

白馬村に移り住み7年が経ち、現在は落倉と白馬町で二拠点生活を始めました。

白馬の豊かで厳しい自然の中で多彩な人に囲まれ、妻と3人の子供+ワンコと日々格闘中の毎日です。この素晴らしい白馬村を次の世代(子供達)が実感して感謝できるように繋げて行きたいです。

観光業でまずは白馬の顔、玄関口の白馬駅前の活性化!電線類の地中化、空き店舗の活用、駅前駐車場設備は必須です。

駅周りを中心に1年を通して、たくさんのお客様に訪れて頂けるように、私なりに行動し発信し続けて行き、少しでも多くの村民の方とコミュニケーション(対話)をし、尊重し合い、より良い村になる活動をして行きたい、そんな思いでいます。

さて、そろそろ冬支度しないと…

## あ と が き

9月議会の直前と最中に、北朝鮮の弾道ミサイルによって、Jアラートが鳴り響き、聞き慣れない音調に不安感を掻き立てられました。

一方のアメリカトランプ大統領。北朝鮮情勢での発言とは別に、頻発する異常気象の原因である地球温暖化問題に、「温暖化などしてはいない。寒いぐらいだ!」と言い放ったとか。どちらの国の指導者にも大変な危うさを感じるのは、私だけではないでしょう。ミサイルには無力でも、温暖化対策の方では、我々にも出来ることはあります。例えば一枚余計に羽織って、暖房の温度を一目盛り下げることぐらいは。

(丸山 勇太郎)

### 議会報調査編集特別委員会

- |      |         |
|------|---------|
| 議長   | 北澤 慎二 郎 |
| 委員長  | 伊藤 まゆみ  |
| 副委員長 | 田中 麻乃   |
| 委員   | 丸山 勇太郎  |
| 委員   | 太田 正治   |
| 委員   | 加藤 亮輔   |
| 委員   | 田中 榮一   |
| 委員   | 津滝 俊幸   |

白馬議会だより 122号  
平成29年10月31日発行

発行 長野県白馬村議会  
編集 議会報調査編集特別委員会  
印刷 PO印刷(株)

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村  
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001  
http://www.vill.hakubada.jp/assembly/assembly.html E-mail ghkai@vill.hakubada.jp